

令和7年 12月定例会(第384回)の結果

11月27日～12月23日(会期:27日間)

市長提出議案 29件
 議員提出議案 1件
 請願 7件
 陳情 1件



全議員が賛成した議案

予算 令和7年度一般会計補正予算(第6号) など予算案件7件

条例 まなびと交流・共創施設条例の制定 など条例案件11件

その他 建物の床の取得 など事件決議4件、監査委員の選任同意 など人事案件4件

議会内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

全議員が継続審査とした請願

請願 市民センター窓口サービスの縮小・改定方針の中止を求める請願 請願1件

賛否が分かれた議案・請願(肥後淳三議員は、議長のため表決に加わりません)

賛成:○ 反対:×

議員名	創志会			さんだの未来			市民とともに			公明党			日本共産党三田市議団		日本維新の会三田		結果					
	幸田安司	今北義明	小杉崇浩	坪之内幸司	福田秀章	假屋浩司	佐貫尚子	中田哲	関口正人	小山裕久	橋本維文	大西憲司	山崎文	福田佳則	村手秀樹	大西雅子		長尾明憲	水元サユミ	木村雅人	福本愛	長谷川良果
予算	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成10人 反対11人 否決
条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 可決
事件決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 可決
決議案	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成13人 反対8人 可決
請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択
	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 継続審査
	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択
	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択

以下の議案3件について、討論を行いました。
 議案第94号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について
 議案第100号 公の施設の区域外設置に関する協議について
 議案第104号 令和7年度一般会計補正予算(第7号)
※議案第104号の詳細は、2～3ページをご覧ください。

質問

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

12月定例会では、16人の議員が一般質問(個人質問)をしました。質問時間は、答弁の時間を含めて1人40分です。



三田市議会会議録

検索



三田市議会ユーチューブチャンネル

検索



※本会議の録画映像を公開しています。

今北 義明 議員



創志会

村手 秀樹 議員



公明党

まちの再生

(株)サンフラワーの諸課題への見解は

議員 (株)サンフラワーの決算は企業として大変厳しい状況であり、高度化資金貸付については令和7年度分4,000万円の返済が難しく延滞金も発生する。今後の返済・再建計画が不可欠であり、老朽化した建物や設備の改修も含め、市の見解を伺う。

経営再建には市の支援が必要と考える

市 負債の返済計画は、県等への相談を進めている。また、早急に設備全体の状況調査を実施した上で安全対策を講じ、経営再建に向けた協議を進める必要がある。筆頭株主である市として経営安定化を図るため、早急に支援の方向性を見極めていく。(辻下産業振興部長)

他の質問 雇用推進に関わる諸問題について



説明 *高度化資金貸付: 中小企業の組織する事業協働組合等が共同化や高度化を図るためなどに行う事業に対する貸付金制度

公共工事

公共工事における歳出削減に向けた取組を

議員 市の財政収支に大きく影響する公共工事においては、基本計画・基本設計・実施設計の各段階でコスト意識を持ち、バリューエンジニアリングを継続的に行い、建設コストの削減に取り組むべきと考えるが、市の見解を伺う。

さらに効果的な歳出削減を目指していく

市 大型公共施設の整備は、基本計画段階から綿密な協議を行い、市職員が設計コンサルタントの業務に主体的に関与することでトータルコストの削減を図ってきたが、今後もバリューエンジニアリングなどを活用し、さらに効果的な歳出削減を目指していく。(田村市長)

他の質問 生活利便性向上への取組について



説明 *バリューエンジニアリング: 求められる機能や品質を維持したままコストの削減を図る手法

